

土木学会 コンクリート委員会  
平成 26 年度 第 2 回規準関連小委員会議事録（案）

1. 日時・場所：2015 年 2 月 20 日（金）10：00-12：00、土木学会 F 会議室

2. 出席（敬称略）：

久田委員長、横関幹事長、上野、片平、椿、内田、森、蔵重、田中（記録）

3. 配布資料

2-0 第 2 回規準関連小委員会議事次第

2-1 第 1 回規準関連小委員会議事録（案）

2-2-1 第 2 回示方書改訂小委員会議事録

2-2-2 第 3 回示方書改訂小委員会議事録

2-3 日本コンクリート工学規準・指針の制定／改正に関する規定

2-4 土木学会規準の審査のお願い（徳島大学橋本先生）

2-5 鋼材補強材 WG

4. 議事内容

(1) 委員長挨拶

- 3/13 の常任委員会で本委員会の今後の活動方針について審議してもらう予定ですので、本日は活動方針について取りまとめさせていただきたい。

(2) 第 1 回議事録確認

- 横関幹事長から資料 2-0 に基づき、第 1 回議事録（案）の確認がなされた。主な質疑は以下の通り。
- 2 年×2 期となっているがどういうことか？  
→今年度で次期改定に向けての活動方針を固め、来年度から委員構成を再編して進めていく予定。規準編は他の示方書とは改訂時期が異なっていたが、規準編の次回の改訂時期は他の示方書の大改訂時期に合わせる予定。そのため、4 年間くらいの活動期間になると考えている。
- 電子化で、タイトルのみ掲載とあるが？  
→JIS については、本文は掲載できないのでタイトルのみとする方法を検討するという事。
- WG を再構成とあるが？  
→これまでの規準編改訂小委員会の WG 構成は示方書ではなく JIS に近い構成になっている。今後、規準編のあり方そのものを検討し、必要であれば、示方書の構成に合わせて WG を再編することも考えていきたい。

(3) 示方書改訂小委員会第 2 回、3 回議事録について

- 久田委員長から資料 2-2-1、2-2-2 に基づき、説明がなされた。主な内容は以下の通り。
- 示方書全体の電子化の動きがあるので、規準編については個別に電子化を検討する必要はなく、全体の動きをウォッチングしていけばよい。
- 英文化についてはまだ検討されていないが、これも示方書全体として動けばよい。
- 示方書各編との内容、出版スケジュールなどを調整するのであれば、各編の部会との連携強化も

検討していく必要がある。

(4) 今後の規準編のあり方について

- 蔵重委員から、今後の規準編のあり方についての案が紹介された。示方書各編の原文に記載されている規準類、「適正な試験」、「実験」などの規準に関連しそうな項目と規準編に記載されている規準類を関連づければ、示方書各編と規準類との関連性が明確になり、不足している規準や不要な規準がわかるようになる。主な質疑は以下の通り。
- とてもよい取り組みであるので、3/13の常任委員会で久田委員長から紹介する。
- とりあえず、2012年版でやってみるのがよい。規準編のWG構成は従来通りとして、各WGで関連付けを検討してもらう。今後、作業については外注も含めて詳細を検討していく（二瓶さんに相談済み）。

(5) 今後の規準関連小委員会の活動方針について

- 次年度から規準関連小委員会の活動方針について議論がなされ、以下の4つの活動を進めていくことになった。
  - ① 新しい規準の制定審議依頼対応、ISO（全体委員会）
  - ② 既存規準の改訂、廃止、JIS化対応（従来WG）
  - ③ 将来構想検討（改定の流れ、電子化、英文化など）（全体委員会）
  - ④ 示方書との連携検討（従来WG）
- 新規準の審議依頼については、依頼元でほぼ完成形まで作りこんでもらってから、全体委員会で審議するようにする。
- 既存規準への対応、示方書との連携検討については、従来のWGで各担当箇所を対応する。
- 今後の委員およびWG構成については、久田委員長と横関幹事長の方で詳細を検討する。新メンバーについては各WG主査に一任する。

(6) 改訂の流れの規定について

- 資料2-3のJCIの規定をたたき台にして作成していけばよい。
- 将来構想の中で検討していく。JIS化まで入れたらよい。

(7) 橋本先生からの土木学会規準審議のお願いについて

- 新WGが決まるまでしばらく待ってもらうことにする。
- 指針発刊までに規準化したい意向があるので、それに間に合うように調整する。

5. 次回委員会

5月の常任委員会で新委員会が承認された以降に来年度5月中くらいに開催する予定。

以上